

★ 第6回講義：志望企業の内定を決めた院生たちが語る  
 ★ 第7回講義：業界・企業の徹底研究と職種選択

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア支援センターが作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

国立大学法人  
 東京海洋大学・キャリア支援センター  
 電話：03-5463-0575  
 Email：career@m.kaiyodai.ac.jp  
 http://www.kaiyodaicareer.com/

● 第7回 高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座・第3弾

令和2年11月26～27日 オンライン授業 (受講生 59名)

～ 業界・企業の徹底研究と職種選択～

塩谷 和美 特任教授 東京海洋大学 キャリア支援センター

✿ 職業選択の間違いは禍根を残す！

長いキャリアを考えても最初の就職は最も大切であり、社会に出るための最初の関門である。いい仕事に巡り合うことはいい人生につながるの。自分らしい働き方ができて、自分自身も仕事で成長できる事こそ豊かな人生だ。キャリアデザインの第一歩の行動が就活である。広く業界を俯瞰して、大学での選考分野にこだわらず、自分の興味関心のあることは何かを模索し、業界と会社を見つめよう。



✿ 来年の就活はコロナ禍で大企業ほど早まり競争激化が予想される

来春3月から本格的な企業の本試験が始まる。スタートダッシュに乗り遅れないために、1月末にはほぼ準備を終えておくことと良い。本番までにインターンシップの参加など場数を踏みながら軌道修正できる余裕あるスケジュールを組んでおくこと、焦って選択ミスをする事も防止できる。のんびり構えて就活を考えているだけでは前に進まない。PDCAサイクルで、Do(実行) Act(修正)を重視して行動を起こそう。D・Aの行動～DA!DA!DA!の精神だ。インターンシップに参加するためにESを書く、出す、企業情報は各種情報源から克明に調べ、OBOGに会って自分で取りに行くことなどである。

✿ 雇用条件(給与、福利厚生、転勤…)だけで判断しない

生涯賃金を考えると企業の平均年収を参考にすることは必要だが、給与だけに目を眩ませてはいけな。再度、何をやりたいのか?何が出来るのか?やりがいを感じる仕事は何か?を自分と向き合い考えてもらいたい。院生の多くは有名大企業、そして研究職を目指す、自身の棚卸をして実力に合った企業、そして働きがいを感じられる職種を選ぶことが肝要だ。

コロナ感染拡大の収束が見えない中で、企業合同説明会などのリアル面談イベントは開催中止が続く。

各自が独自でインターンシップなどに参加し、個別企業にアプローチする自力本願の覚悟が必要だ！

◆ キャリア支援センターのキャリア開発支援

- ① 「高度専門キャリア形成論」講座で能力開発とキャリア自律の啓発
- ② 「キャリア面談」で就職活動の総合的な支援
- ③ 学部生(1年次)へ「キャリア形成論Ⅰ」を開講
- ④ 学部生(3年次)へ「キャリア形成論Ⅱ」を開講

◆ メールアドレスを登録すると、講義日程・内容等をメールでお知らせします。ホームページから登録できます。 <http://www.kaiyodaicareer.com/>

● 第6回 高度専門キャリア形成論

第2弾「志望企業への内定を決めた院生たちが語る！」

令和2年11月19～20日 オンライン授業 (受講生 68名)

～ 多岐にわたる民間企業への就活体験談～

《多くの業界の中から企業選択した動機と～就活の選択と集中とは》自己理解を深め、企業研究でどう自分を売り込むかの戦略を考え、幅広い業界から志望企業を絞り込み、集中した就活で早期に内定を果たしています。塩谷和美 特任教授(キャリア支援センター)

✿ 熊沢 溪一郎さん(MC2) 大手香料メーカー

就活を意識し始めた当初は志望業界・職種が定まらず苦労した。そこで学内合同説明会や就活支援サイトを活用してOBの就職実績がある企業を中心に多様な企業・業界の情報を収集し、最終的に興味を持った複数の業界からエントリーする企業を絞り込んだ。選考に挑む前に面談や面接練習、ESの添削等できる限り多くの人の意見を聞くように心がけ、そこから得たことを取捨選択して自分の武器にした。



✿ 崔 未来さん(MC2) 大手通信データ会社

デジタル改革が私たちの生活の基盤を支える時代に、IT企業の将来性を感じて応募した。自身の専門性とは異なる業界なのでISへの参加は積極的に行った。企業の将来性と財務基盤の確かさなどが内定企業に決めた理由だ。自身の希望職種の働き方を具体的にイメージすると志望動機が明確になり、面接でもしっかり語れる。それが決め手になったと思う。総務省の『情報通信白書』はネットでも確認できるのでお勧め。



✿ 杉本 祐将さん(MC2) 大手食品メーカー

就活は3月の本番を迎える前に多くの企業研究を済ませ、万全の態勢で臨むべき。早期選考で内々定を決めておくとその後の就活に余裕が持てる。①インプット(自己分析)②アウトプット(相手にどう伝えるか)を企業ごとにしっかり行うことが肝要だ。企業理解を深め挑戦したいことを明確にして、自分の言葉でわかりやすく伝え、「対話すること」を心掛けよう。5年後には海外事業にも携わりたいと考えている。



✿ 竹内 茉莉子さん(MC2) 大手化粧品メーカー

憧れの化粧品メーカー中心に応募した。多角的な自己分析を行い、自己本位にならず自分を客観視することが大切だ。就活中は些細なこともメモし、面接内容に生かした。特に会社の理念に合わせた自分の見せ方を意識して面接に臨んだ。就活ではいろんな不安があるが、周りの人たちと比べ過ぎないで自分の能力を信じて突き進んでください。会社に入ってもコツコツ努力し、成長し続けたいと思う。



✿ 神尾 茂治さん(MC2) 大手総合商社

当初食品メーカーを目指していたが、自己分析すると広い世界で活躍したいという思いが強くなり、総合商社中心に外資企業にも挑戦した。早期IS参加は早期の内定を得る条件であり、IS中も企業側に評価されている。OB訪問は多く行い、先輩から就活全般の、貴重なヒントを多くいただいた。自分なりのこだわりを持って、多忙を言い訳にしない。『就活は誰の為でもなく自分自身の将来の為』にやり抜くことが大切だ。



共通のキーワードは「徹底した自己分析・企業分析」「自分の軸を持つ」「笑顔で自分らしさを表現する」「前向きに場数を踏んで就活を楽しむ」です。明るい未来を切り拓きたい！皆さんの強い決意が印象的でした。

キャリア面談で就職活動をしっかりサポートします

～キャリアコンサルタントとの面談で成果をあげられます！～

・就職活動すべての節目に的確なアドバイスをします。

☐キャリア面談希望の方は下記のアドレスへメールでお問い合わせください

[career@m.kaiyodai.ac.jp](mailto:career@m.kaiyodai.ac.jp) 品川キャンパス白鷹館 キャリア支援センター

まずは相談！